

令和3年度 学校総合体育大会埼玉県大会 サッカーの部 準決勝 第2試合
戦評

令和3年7月 29 日

令和3年度学校総合体育大会県大会準決勝は川口市立西中学校とさいたま市立白幡日進中学校の対戦となった。

川口市立西中学校は 1-4-2-2-2 のシステムで、⑤森、④森岡を中心とした高さや速さのある守備で相手にチャンスを作らせない。⑭島田をアンカーに位置し、長短のパスで大きな展開を見せ、⑩田中の力強いドリブルとスピードでゴールに迫る。

さいたま市立日進中学校は、1-4-2-3-1 のシステムで②押江、⑤堀を中心とした DF 陣が粘り強い守備を見せ、⑥田中、⑦関根、⑧村山が中盤でボールを自由に展開し、攻撃のリズムを作っている。前線の⑪柳澤の力強いドリブルと⑨半澤の積極的なプレーからゴールを狙う。

試合はさいたま市立日新中学校のキックオフで開始。立ち上がりから両チームの激しい攻防が続く中、前半7分川口市立西中学校⑥松本のロングボールから⑱小野寺が抜け出し、小野寺のシュートは①野口に触れられるもゴールに入り、川口西中が先制。

日進中は前線からの激しいプレスをかけ、チャンスを作る。前半 22 分川口西陣内の深い位置のスローインを⑪柳澤がバイタルエリアで待ち受ける⑧村山へと繋ぎ、ミドルシュートから同点ゴールを奪う。

前半 29 分、川口西中⑩田中がペナルティエリア内で積極的にドリブルを仕掛け、PK を獲得。その PK を⑩田中がゴール右に冷静に決め、勝ち越し点を決める。両チームのダイナミックな展開が続く中、2-1 で川口西中がリードして前半が終了した。

後半、立ち上がりから川口西中が積極的にゴールに迫る。31 分の CK では⑦のボールに対して⑭がヘディングで捉えるもクロスバーの上へ外れる。日進中のプレスを慣れ始めた川口西中はボールを支配し、チャンスを作るも最後の部分で、⑤堀、②押江の球際の強さで追加点を許さない。対する日進中も⑨半澤をターゲットに攻撃のチャンスを作り出すもなかなかシュートまでいけない展開が続く。

西中は⑥松本⑦大森⑧熊木が中盤のパス交換の間に⑱小野寺と⑩田中がオフザボールの動きで効果的な攻撃を増やしていく。シュートまでいく場面も日進中①野口の好セーブにあい、追加点を奪えず、両チーム緊張感のある展開が続いていく。

クォーリングブレイクが明け、日進中が選手交代で構成を強めるも、川口西中も粘り強い守りを見せる。後半 21 分、日進中ゴール前の激しい攻防の中、⑱小野寺がボールを拾い、冷静なシュートからゴールを奪い、日進中を突き放す。

終了間際徐々に日進中の運動量が落ち始める中、西中が攻勢を強めるが、シュートまでいかせずにカウンターを狙っていたが、追加点を奪えぬまま 3-1 で川口西中の勝利で試合終了を迎えた。

日進中は、⑤堀、⑦関根、⑨半澤のセンターラインの選手を中心に運動量を落とすことなく、最後まで闘う姿勢を見せた。

川口西中は、④森岡、⑤森の力強い守備から、スピード感あふれる⑩田中を中心に最後まで、日進中ゴールに迫る姿勢を見せた。

両校の激しい運動量と球際の強さが目立った好ゲームになった。